北星学園大学

〒004-8631 北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1 入試課 TEL 011-891-2731 http://www.hokusei.ac.jp/

札幌で育む、豊かな教養と国際的視野。北海道屈指の文系総合大学

今年、創立130周年を迎えた北星学園。その起源は1887年、アメリカの女性宣教師サラ・C・スミス(1)によって設立された「スミス女学校」にまで遡ります。1894(明治27)年には、新渡戸稲造らの助言により「北星女学校」と改称。1962年に開学した北星学園大学は、現在では、3学部8学科、3研究科および短期大学部2学科を包摂する文系総合大学として、幅広く豊かな教育プログラムを提供しています。創立時から一貫して、「キリスト教による人格教育」を受け継ぎ、「人間性」「社会性」「国際性」を備えた有為な人材を数多く輩出しています。

国際性豊かなキャンパスを特色とし、多文化・多言語による交流が活発な「国際ラウンジ」をはじめ、多彩な取り組みでグローバル教育を促進。文部科学省が実施する「平成28年度私立大学等改革総合支援事業」において、タイプ1「教育の質的転換」およびタイプ4「グローバル化」の2つに選定(2)されました。

伝統を誇る「高き教養と人格の確立」を目指した教育

北星学園大学の教育の源は、1887(明治20)年、米国の女性宣教師サラ・C・スミスが「スミス女学校」を開設し、北海道の女子教育に着手したことに遡ります。

当時の風潮にあって、キリスト教精神による女性の人格教育に力を注ぐ彼女の姿勢は、教育界に革新的で清新な風を吹き込みました。その志に、新渡戸稲造ら札幌農学校(現北海道大学)教員の多くが共鳴。出講などを通した惜しみない教育支援のもと、スミスが主導して展開した教育内容は、女子教育界のなかでも高く評価されました。

その後、新渡戸らの助言により、「北星女学校」と改称。1962年には、男女共学の4年制大学として北星学園大学が開学しました。現在では文学部、経済学部、社会福祉学部、短期大学部および大学院に約4,400名が学ぶ総合大学に発展しました。

北星学園大学が建学の精神として掲げるのは、キリスト教精神に基づいた人格教育であり、そこで培われた「人間性・社会性・国際性」を備えた人材の育成です。これは、創立時から一貫してスミスの教育理念を受け継ぐものであり、高き教養と人格の確立を目指した北星学園の教育は、多くの有為な人材を世に送り出し、社会の高い評価を得て今日に至っています。

「ことば」を重視し、洞察力・論証力・発信力を磨く「文学部」

文学部では、人間社会の基本となる「ことば」を重視しながら、各専門科目へと学びを拡げます。目標とするのは「洞察力」「論証力」「発信力」の修得です。

このうち、1962年の大学開学以来の伝統を誇る「英文学科」では、英語とその背景にある文化や歴史に対する知識を培うとともに、日本文化についても同様の理解を深めます。これらを踏まえ、高度な英語運用能力と異文化コミュニケーション能力を磨き、国家間の架け橋として活躍することができる専門家を育成します。

一方、心理・応用コミュニケーション学科では、人々の相互理解と協働が求められる社会状況の中で、コミュニケーションの活性化に貢献できる人材の育成を目指します。そのため、理論と現場の融合を目指し、学外のさまざまな教育資源を活用したダイナミックな教育を展開。心理学の知見に基づいた人間理解に関する知識を修得するとともに、社会の現場で自ら問題を見つけ出し、考え、行動することを通じて、世の中を広く多角的に見渡す力と物事を長期的・因果的に考える力を養成します。

見識豊かな産業人、社会人を目指す「経済学部」の学び

「経済学科」では、確かな論理的思考力とグローバルな視点を兼ね備え、経済的諸問題に対して理論・実証の両面からアプローチできる能力を身につけた人材を育成します。

また「経営情報学科」では、経営、マーケティング、会計、情報処理の専門知識や技能を駆使し、企業経営の場面で自らのアイデアを具現化できる人材を育成します。

さらに「経済法学科」では、経済の知識を備えた法律のスペシャリスト、リーガルマインドを備えた経済のスペシャリストを育成します。コンプライアンス(法令の遵守)が求められる現場での活躍が期待されます。

札幌市営地下鉄「大谷地駅」徒歩5分に立地。豊かな緑に囲まれた開放感ある自然環境と都市機能が調和したキャンパス

「人を支援する」姿勢と、深い人間理解力を養成する「社会福祉学部」

「福祉計画学科」では、社会福祉制度・政策の幅広い知識を修得するとともに、海外福祉事情や社会福祉調査などを実践を通して学びます。コミュニティ・ソーシャルワーカーや福祉マインドを持った企業人として、社会福祉サービスを総合的に企画・立案し、提供できる人材を育成します。

「福祉臨床学科」では、人の一生で起こり得る、生活上のさまざまな障害や問題に関し、相談を受け援助するジェネラリスト・ソーシャルワーカーを育成します。対人援助の基礎理論、方法論、分野別に求められる知識・技術の修得はもとより、福祉臨床実習を通じて、積み上げ方式で実践的力量を身につけ、社会福祉士や精神保健福祉士などの国家資格取得を目指します。

「福祉心理学科」では、心理学の基礎知識の修得および、臨床心理学やカウンセリングなど「こころの問題」を実践的に学び、心理学の視点で生活や社会に貢献できる人材を育成します。

開学以来、「国際性」を掲げる多文化共生型のキャンパス

キャンパスに多くの留学生が行き交う北星学園大学では、北海道私大の国際交流の先駆者として、海外協定校であるアジア、北米、ヨーロッパの9カ国16大学への交換留学制度や、短期の海外研修など多彩な留学プログラムを展開。これまでの派遣・受入学生数は2,042人にのぼります。留学生とともに学ぶ「国際交流関係科目」を設置しているほか、「国際ラウンジ」では、異文化理解の促進や言語能力の向上を目的とし、留学生と日本人学生が各国の言語で交流したり、海外留学やインターンシップの体験報告会などを開催。外国語の会話テーブルも毎週行われています。また、語学学習のための最新システムを導入したCALL教室やAVスタディルームを整備しています。

1年次から段階的に取り組む「キャリアデザインプログラム」

教育の一環としてキャリアを考える北星学園大学では、毎週水曜日の3講目を一切の授業を入れない空きコマとし、通常の講義枠の中で、全学生が無理なくキャリア支援講座を受講できることが大きな特徴です。就職支援講座は84講座を実施。1年次から履修可能な「キャリア教育科目」に加え、「キャリアデザインプログラム」では、自己分析から企業訪問まで幅広い講座が段階的に組まれています。

その中核となる「キャリアデザインセンター」では、常駐するキャリアカウンセラー(有資格者)を含む12名の教員が、学生との個別相談を重視し、エントリーシートの添削や模擬面接など、伴走的なサポートを実施。内定を得た学生やOB・OGも就職活動のポイントをアドバイスします。こうした取り組みの成果が、就職率97.8%(2017年5月1日現在)を誇る実績につながっているのです。

とりわけ、2016年度の社会福祉士合格率は55.2%、精神保健福祉士合格率は92.9%と、北海道内で第1位の実績を誇り、道内で活躍する社会福祉士の多くを北星学園大学の卒業生が占めています。公務員試験の合格率も、70%という高い実績を強みの一つとしています。

"Shine like stars in a dark world"に由来する「北星」の名のもと、一人ひとりが北の大地にあって星のように輝くようにとの願いをこめて——

NOTES

(1)創立者 サラ・C・スミス

北星学園の創立者、サラ・C・スミスは、故郷ニューヨークの教会から派遣され、東京の女学校で教職についた。体調を崩し、療養の場とした北海道で1886(明治19)年、尋常師範学校の外国人教師に採用。「北海道の女子教育のために、キリスト教に根ざした学校づくりをしてほしい」という大島正健ら札幌農学校の1・2期生の奨めもあり、札幌に女学校開校を決意。その熱意は、北海道庁長官の岩村通俊に認められ、「札幌長老派伝道協会寄宿女学校」を開設した。1889(明治22)年、女学校の認可を得て「スミス女学校」となり、1894(明治27)年、「北星女学校」と改名。スミスは、1931(昭和6)年に帰米するまでの50年、自らの全てを捧げ教育に取り組んだ。

(2)私立大学等改革総合支援事業

本事業は、教育の質的転換、地域発展、産業界・他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対する支援強化のため、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援するもので、北星学園大学が採択された2つのタイプは以下のとおり。

- タイプ1「教育の質的転換」:全学的な体制での教育の質的転換(学生の主体的な学習の充実等)への取り組み
- タイプ4「グローバル化」:語学教育強化、国際環境整備、地域の国際化など、多様なグローバル化への取り組み

※タイプ4は北海道内の大学で初、そして北海道内の大学で唯一の選定校

● 独自の奨学金制度

■入試特別奨学賞

- 一般入試(大学・短期大学部)および大学入試センター試験利用入試I期(大学のみ)において、学科毎に募集定員の成績上位10%程度の合格者が対象。
- 授業料および教育充実費の2分の1相当額を免除。※在学中の学業成績等により大学で最大4年間、短期大学部で最大2年間継続。
- 採用枠数は62人

■自宅外通学支援奨学金(入学前予約型)

札幌市及び札幌近郊以外に居住されているより多くの受験生が、本学へ進学を志せるように、入学後の経済支援を行うことを目的とする。

- 年額36万円を原則4年間(短期大学部は2年間)給付。※継続審査あり
- 採用人数は60名(大学・短期大学部合計)